

会議名 「日本の情報発信」2015年第2回研究会
跨境コミュニティーの信頼構築とコミュニケーション

2015年7月13日(月) 18:10 ~ 19:30
早稲田大学3号館10階 第3会議室 (先着20名に著者新刊贈呈)

国際社会の信頼構築におけるメディアの責任
～ジャーナリストの役割と限界～

講師：加藤青延氏 (NHK 解説委員)

コメンテーター：陳汝東先生 (北京大学教授)

司会：中川 凌 (早稲田大学政治経済学部一年)

概要：情報伝達技術の革新的な進歩と経済の国際化によって、世界各地で発生する様々な出来事が、瞬時に地球の隅々まで送り届けられる時代になった。各種世論調査によると、世界各国の国民の大多数は、外国や国際社会に対する認識を、メディアが伝達する情報に依拠して形成している。本来なら、全世界の人々が、同時に公平な情報を共有できれば、メディアは、国際社会や各国間の信頼醸成にも大きな役割を果たすはずである。だが、実際には、各国メディアが伝達する情報は、個々のメディアの価値判断による情報の取捨選択や、個々の国・グループの政治的な思惑、更には、経済的利害によって、かなり歪められている。東アジアにおける日中韓の関係低迷や、ウクライナ情勢をめぐる欧米とロシアの対立、さらには、先進国と途上国間の矛盾などの諸問題においても、往々にして、個々のメディアは、属する国の立場に偏った報道をすることで、かえって、相互の不信感を助長するという負の役割を果たしている側面が目立つと言わざるを得ない。本論では、このような問題意識から、国際社会の信頼構築におけるメディアの責任を考えると同時に、三十余年間にわたって、国際報道に関わってきた記者の立場から、報道現場の実情、経験なども交えて、ジャーナリストが果たせる役割と限界について探究する。

会場にて、講師の加藤青延氏の近著を先着20名に無料で配布します。かつて、加藤氏が中国で悪戦苦闘した取材のエピソードをつづった著作です。

早稲田大学現代政治学研究所「日本の対外発信」部会
連続講演会テーマ

「跨境コミュニティの信頼構築とコミュニケーション」

趣旨

地球規模で人、物、情報の移動が頻繁となった現代社会では、しだいに国や民族といった所与の単位を越え、多様なアイデンティティと属性を包摂する水平分散型コミュニティが形成されつつある。世界、国家、企業、地域社会など、重層化した空間におけるシティズンシップに基づく異文化集団では、コミュニケーションが相互信頼と規範形成に重要な役割を果たす。本研究会では各界ゲストによる具体事例の紹介を通じ、跨境する社会関連資本（個人間の繋がりから生まれる互酬性と信頼性の規範）の現状を、とくに人々の移動と科学技術の発達との関わりから議論する。跨境型ネットワークの現状把握と、信頼形成に寄与するコミュニケーションのありかたを提言してゆきたい。

部会研究員一同

砂岡和子（部会代表 専門：中国語教育、遠隔教育）

宗像和重（専門：日本文学研究）

ソジェ内田恵美（専門：応用言語学、日本研究、政治ディスコース分析）

生駒美喜（専門：ドイツ語音声研究、会話分析、学習者言語の分析）

加藤青延（NHK 解説委員 専門：アジアの報道分析）